



2025年度第3四半期決算 および 2025年度業績見通し

2026年2月4日

帝人株式会社

決算発表のポイント

2025年度第3四半期実績

- 事業利益：238億円（前年同期比▲18億円）
 - ✓ヘルスケアは在宅医療機器のレンタル台数増加・ライセンス対価収入等により増益となったものの、マテリアルでの大型定修影響・販売構成悪化やアラミドペーパー事業の損益除外により減益
- 米国炭素繊維工場の一時休止等に伴う減損処理を実施

2025年度業績見通し

- 事業利益：250億円（前回見通し据え置き）
- 年間配当：1株当たり50円を予定（中間25円、期末見通し25円） ※前回見通しから変更なし

トピックス

- 帝人フロンティア(株)と旭化成アドバンス(株)の経営統合（合併会社の設立）に関する契約を締結（2025年12月）

目次

- 1 2025年度第3四半期決算
- 2 2025年度業績見通し
- 3 トピックス
- 4 参考資料

目次

1 2025年度第3四半期決算

2 2025年度業績見通し

3 トピックス

4 参考資料

実績サマリー（前年同期比）

- 売上収益は**962億円**の減収、事業利益は**18億円**の減益
- アラミド事業や炭素繊維事業の構造改革費用、減損損失等により四半期損失は**590億円**

(億円)	24年度3Q累計	25年度3Q累計	差異
売上収益	7,561	6,599	✓ -962
事業利益	256	238	✓ -18
金融収益および費用	▲ 45	▲ 45	-0
非経常項目	▲ 651	▲ 749	-98
その他	▲111	▲34	+77
非継続事業からの四半期利益	1,061	-	-1,061
親会社の所有者に帰属する 四半期利益（損失）	510	✓ ▲590	-1,100
ROE ^{*1}	16.5%	-19.2%	-35.7%
ROIC ^{*2}	2.9%	3.0%	+0.1%

PL換算レート	円／米ドル	153	149
	円／ユーロ	165	172
原油(Dubai)価格（米ドル／バレル）	79	67	
欧州天然ガス価格（ユーロ／MWh）	37	33	

*1 ROE：親会社の所有者に帰属する四半期利益(損失)÷期首・期末平均親会社の所有者に帰属する持分

*2 ROIC：税引後事業利益÷期首・期末平均投下資本にて算出（投下資本=資本+有利子負債）

実績サマリー（前年同期比） | セグメント別

- 売上収益は、主に複合成形材料 北米事業の譲渡により**962億円**の減収
- 事業利益は、ヘルスケアは増益も、マテリアル、繊維・製品、その他の減益により**18億円**の減益

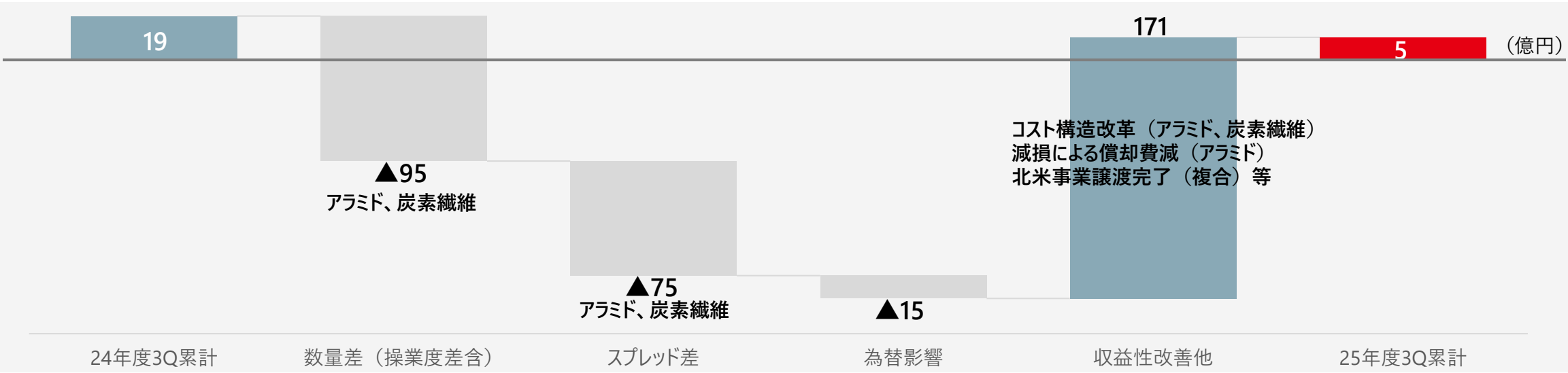
(億円)	売上収益				事業利益			
	24年度 3Q累計	25年度 3Q累計	差異	増減率	24年度 3Q累計	25年度 3Q累計	差異	増減率
マテリアル	3,424	2,594	-829	-24.2%	19	5	-14	-74.2%
繊維・製品	2,662	2,586	-76	-2.8%	151	132	-19	-12.5%
ヘルスケア	1,042	1,058	+16	+1.5%	80	129	+49	+60.7%
その他	433	361	-73	-16.8%	67	42	-25	-37.8%
消去又は全社	-	-	-	-	▲ 61	▲ 70	-9	-
合計	7,561	6,599	✓ -962	-12.7%	256	238	✓ -18	-7.0%

セグメント別事業利益増減分析（前年同期比） | マテリアル

売上収益2,594億円（前年同期比：▲829億円）

事業利益5億円（前年同期比：▲14億円）

● アラミド、炭素繊維のコスト構造改革が順調に進捗も、大型定修や販売構成の悪化等により減益

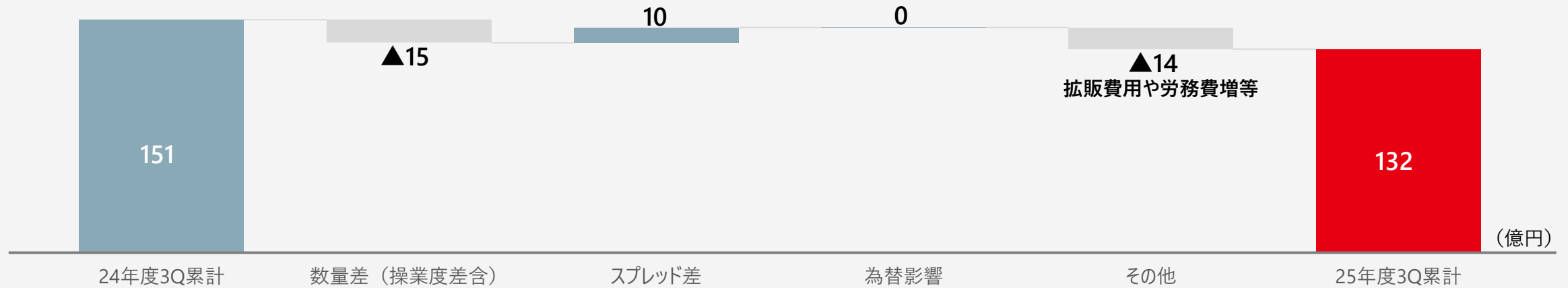


アラミド		樹脂		炭素繊維		複合成形材料	
増加 (+)	<ul style="list-style-type: none">コスト構造改革 生産最適化等によるコスト削減原燃料価格低下償却費減少		<ul style="list-style-type: none">スプレッド維持		<ul style="list-style-type: none">コスト構造改革 生産最適化等によるコスト削減		<ul style="list-style-type: none">収益性改善効果の定着北米事業の譲渡完了に伴う赤字解消
減少 (-)	<ul style="list-style-type: none">操業度低下（大型定修等）販売価格低下（ユーロ高、拡販等） 光ファイバー用途等		<ul style="list-style-type: none">販売量減少 事務機用途等		<ul style="list-style-type: none">販売量減少に伴う操業度低下 航空機、産業用途等汎用品用途での販売価格低下 産業、レクリエーション用途		

セグメント別事業利益増減分析（前年同期比） | 繊維・製品

売上収益 2,586億円（前年同期比：▲76億円） **事業利益** 132億円（前年同期比：▲19億円）

- 全体の販売量は堅調に推移したものの、前年度の前倒し出荷や一部用途で弱含み
- 今後の拡販に向けた取り組みとして本社費等が増加



増加
(+)

- **販売堅調**
衣料繊維：北米向けテキスタイル、国内および中国向け衣料品
産業資材：水処理フィルター向けポリエステル短繊維や生活雑貨は好調維持
- **販売構成良化**

減少
(-)

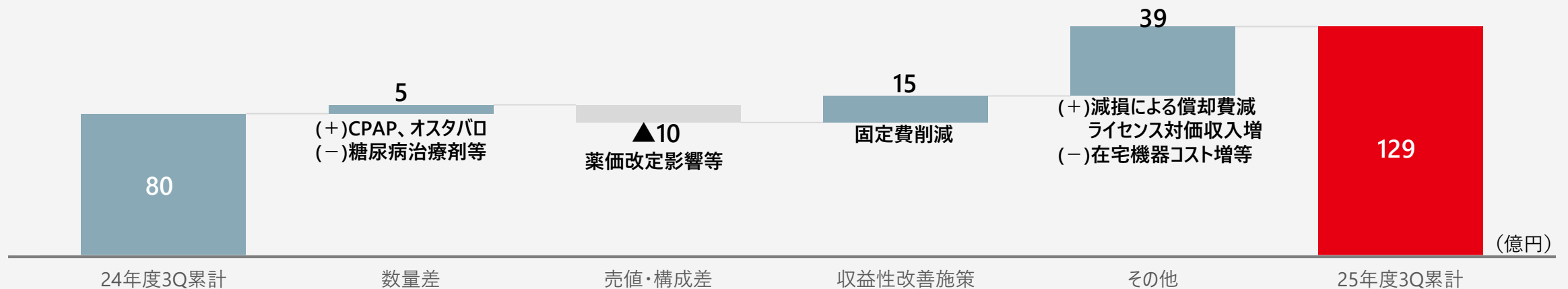
- **販売減少**
衣料繊維：中国向けテキスタイル（前年度に前倒し出荷）
産業資材：自動車用途で弱含み
- **拡販費用や労務費増等**

セグメント別事業利益増減分析（前年同期比） | ヘルスケア

売上収益 1,058億円（前年同期比：+16億円）

事業利益 129億円（前年同期比：+49億円）

- CPAPレンタル台数の増加やライセンス対価収入、固定費削減効果の発現等により増益

増加
(+)

- ・ CPAPレンタル台数増加
検査数増加に伴う新規処方件数の拡大
- ・ オスタバロ販売量増加
- ・ ライセンス対価収入増加
- ・ 事業構造改革による固定費削減
- ・ 償却費減少
糖尿病治療剤販売権の減損等

減少
(-)

- ・ 医薬品販売量減少
糖尿病治療剤等
- ・ 薬価改定による影響
- ・ CPAP新機台投入に伴う償却費や消耗品使用量の増加に伴うコスト増

セグメント別事業利益増減分析（前年同期比） | その他

売上収益 361億円（前年同期比：▲73億円）**事業利益** 42億円（前年同期比：▲25億円）

- セパレータおよびメンブレンの販売は堅調に推移
- 持分法適用会社等の減益（アラミドペーパー事業損益の除外）



増加
(+)

- 販売堅調
セパレータ（電子デバイス）、メンブレン（半導体関連）

減少
(-)

- 持分法適用会社等の減益
アラミドペーパー事業損益の除外（2025年9月から）

金融収益および費用、非経常項目（前年同期比）

金融収益および費用

- 有利子負債の返済により支払利息減少。円安により為替差は悪化

(億円)	24年度3Q累計	25年度3Q累計	差異
受取利息	22	24	+2
受取配当金	4	6	+2
為替差益	10	-	✓ -10
その他	6	2	-4
金融収益 計	43	32	-11
支払利息	▲81	▲54	✓ +27
為替差損	-	▲15	✓ -15
デリバティブ評価損	▲5	▲6	-1
その他	▲2	▲2	-0
金融費用 計	▲88	▲77	+11
金融収益および費用 計	▲45	▲45	-0

※ 益プラス表示、損マイナス表示

非経常項目

- アラミド事業・炭素繊維事業の減損損失および複合成形材料 北米事業の株式売却損を計上

(億円)	24年度3Q累計	25年度3Q累計	差異
固定資産売却益	4	19	+15
固定資産処分損	▲16	▲7	+8
減損損失	▲591	✓ ▲608 ^{*1}	-17
関係会社株式売却損	-	✓ ▲106	-106
その他	▲48	▲46 ^{*2}	+2
非経常項目 計	▲651	▲749	-98

*1 アラミド事業の減損（495億円）、炭素繊維事業の減損（73億円）等

*2 アラミド事業や炭素繊維事業の構造改革費用等

財政状況（前年度末比）

●総資産は前年度末比減少

複合成形材料 北米事業の除外および固定資産の減損等

	(億円)	25年3月末	25年12月末	差異	内 為替換算影響
総資産		10,613	9,896	✓ -716	+399
負債		6,227	5,984	-243	+157
(内 有利子負債)		3,871	3,883	+12	+101
資本		4,385	3,912	-473	-
D/Eレシオ（資本性調整後） ^{*1}		0.77	0.86	+0.09	-
ネットD/Eレシオ		0.65	0.69	+0.04	-
BS換算レート	円／米ドル	150	157		
	円／ユーロ	162	184		

*1 劣後債資本性調整後のD/Eレシオ（2021年7月21日 劣後債600億円発行済）

キャッシュ・フローの状況（前年同期比）

- 運転資本の改善等により営業キャッシュ・フロー増加

(億円)	24年度3Q累計	25年度3Q累計	差異
営業活動	408	732	✓ +323
投資活動	592 ^{*1}	▲ 421	-1,012
フリー・キャッシュ・フロー	1,000	311	-689
財務活動他	▲ 136	▲ 165	-29
現金及び現金同等物増減	864	146	-718

*1 インフォコム株式の売却影響含む

目次

1 2025年度第3四半期決算

| 2 2025年度業績見通し

3 トピックス

4 参考資料

通期業績見通しサマリー（前年度比）

- 通期業績見通しは、前回から変更なし。ただし、セグメントごとの事業利益は強弱あり
- 売上収益は**1,455億円**の減収、事業利益は**26億円**の減益、当期利益は**383億円**の減益
- 1株当たりの配当金は**年間50円**で変更なし（中間25円/株、期末見通し25円/株）

	(億円)	24年度実績	25年度見通し	差異	25年度前回見通し
売上収益		10,055	8,600	✓ -1,455	8,600
事業利益		276	250	✓ -26	250
親会社の所有者に帰属する 当期利益（損失）		283	▲ 100	✓ -383	▲ 100
ROE		6.7%	-2%	-9%	-2%
ROIC		2.6%	2%	-1%	2%
D/Eレシオ（資本性調整後） ^{*1}		0.77	0.7	-0.0	0.7
1株当たり配当（円）		50	✓ 50	-	50
配当性向		34%	-	-	-
通期平均為替レート	円／米ドル	153	150		
	円／ユーロ	164	174		
原油(Dubai)価格（米ドル／バレル）		78	67		
欧州天然ガス価格（ユーロ／MWh）		41	32		

*1 劣後債資本性調整後のD/Eレシオ（2021年7月21日 劣後債 600億円発行済）

通期業績見通しサマリー（前回見通し比） | セグメント別

- 売上収益、事業利益いずれも据え置き
- その他：電池部材は販売堅調。マテリアル：アラミドの販売量伸び悩み

(億円)	売上収益			事業利益		
	25年度 前回見通し	25年度 今回見通し	差異	25年度 前回見通し	25年度 今回見通し	差異
マテリアル	3,300	3,300	-	30	15	✓ -15
繊維・製品	3,500	3,500	-	180	180	-
ヘルスケア	1,350	1,350	-	125	125	-
その他	450	450	-	15	30	✓ +15
消去又は全社	-	-	-	▲ 100	▲ 100	-
合計	8,600	8,600	-	250	250	-

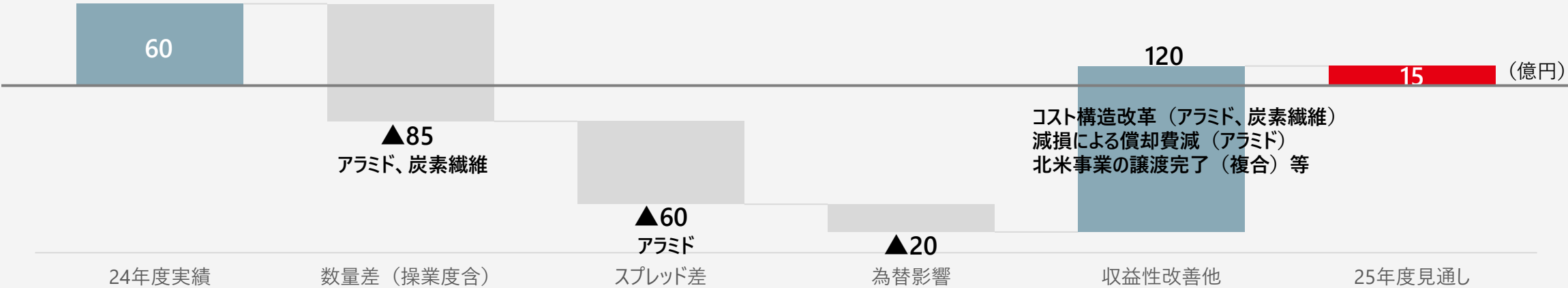
セグメント別事業利益増減分析（前年度比）

マテリアル

売上収益 3,300億円（前年度比：▲1,293億円）

事業利益 15億円（前年度比：▲45億円）

- 複合成形材料 北米事業の譲渡に伴う赤字解消、アラミド・炭素繊維でのコスト構造改革が利益に貢献
- 一方、アラミドでの大型定修の影響や販売価格の低下、炭素繊維での販売量減少等により全体では減益



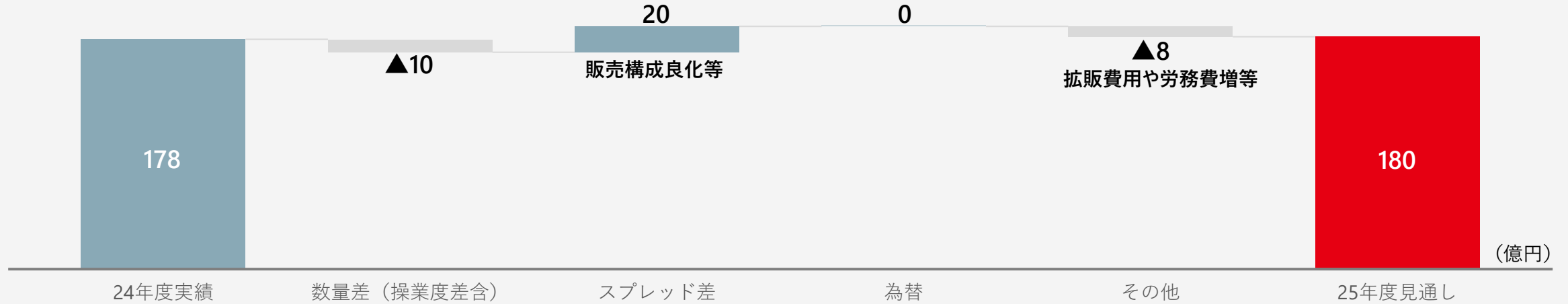
	アラミド	樹脂	炭素繊維	複合成形材料
増加 (+)	<div>コスト構造改革 生産最適化等によるコスト削減</div> <div>減損による償却費減少</div> <div>原燃料価格低下</div> <div>販売量増加 光ファイバー用途</div>	<div>スプレッド維持</div>	<div>コスト構造改革 生産最適化等によるコスト削減</div>	<div>収益性改善効果の定着</div> <div>北米事業の譲渡完了に伴う赤字解消</div>
減少 (-)	<div>操業度低下 大型定修の影響等</div> <div>販売価格低下（ユーロ高、拡販等） 光ファイバー用途等</div>	<div>販売量減少 事務機用途等</div>	<div>販売量減少に伴う操業度低下 航空機、産業用途等</div>	

セグメント別事業利益増減分析（前年度比） | 繊維・製品

売上収益 3,500億円（前年度比：▲19億円）

事業利益 180億円（前年度比：+2億円）

- 全体的に販売量は堅調に推移、前年度並みの利益を見込む

増加
(+)

- 販売量増加
産業資材：水処理フィルター向けポリエステル短繊維、生活雑貨
- 販売構成良化

減少
(-)

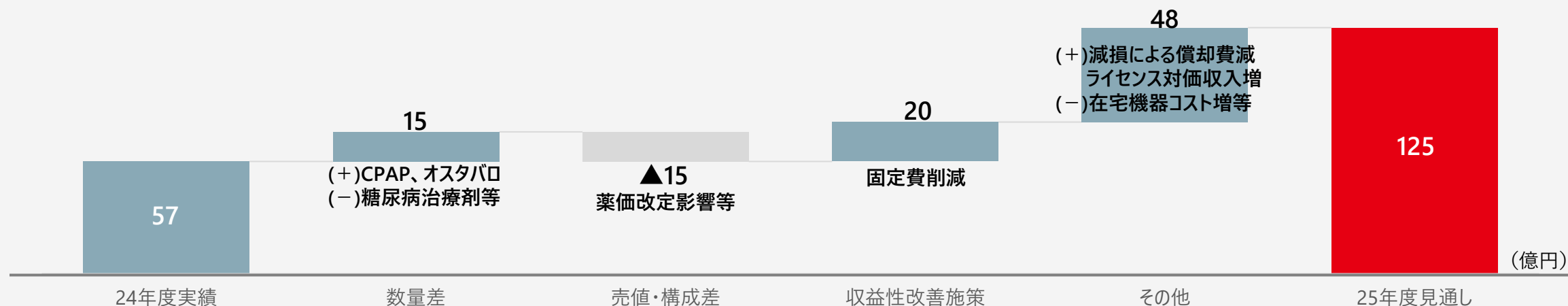
- 販売量減少
衣料繊維：中国向けテキスタイル（前年度に前倒し出荷）
産業資材：自動車用途で弱含み
- 拡販費用や労務費増加等

セグメント別事業利益増減分析（前年度比） | ヘルスケア

売上収益 1,350億円（前年度比：▲20億円）

事業利益 125億円（前年度比：+68億円）

●CPAPレンタル台数の増加やライセンス対価収入、固定費削減効果の年間フル発現、減損に伴う償却費減少等により増益

増加
(+)

- CPAPレンタル台数、オスタバロ販売量増加
- 事業構造転換の推進に伴う固定費削減
- 償却費減少
糖尿病治療剤販売権の減損等

減少
(-)

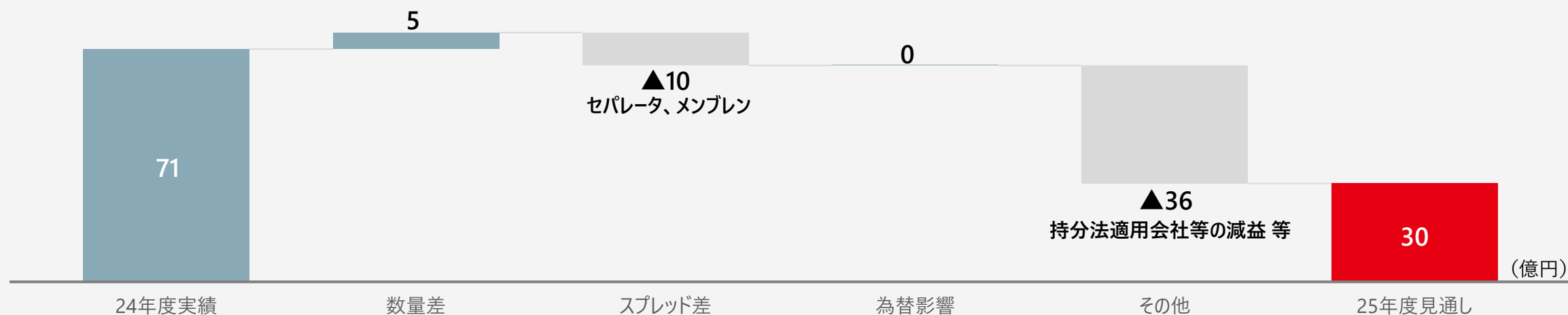
- 医薬品販売量減少
糖尿病治療剤等
- 薬価改定による影響
- CPAP新機台投入に伴う償却費や消耗品使用量の増加に伴うコスト増

セグメント別事業利益増減分析（前年度比） | その他

売上収益 450億円（前年度比：▲123億円）

事業利益 30億円（前年度比：▲41億円）

- セパレータおよびメンブレンの販売は堅調に推移
- 持分法適用会社等の減益（アラミドペーパー事業損益の除外等）

増加
(+)

- 販売堅調
セパレータ（電子デバイス）、メンブレン（半導体関連）

減少
(-)

- 持分法適用会社等の減益
アラミドペーパー事業損益の除外（2025年9月から）
国内動力の燃料転換に伴う試運転費用 等

目次

1 2025年度第3四半期決算

2 2025年度業績見通し

3 トピックス

4 参考資料

■ これまで推進してきた事業ポートフォリオ変革は、顧客近接型ビジネスを軸とする成長フェーズへ

不採算・非注力事業のダイベスト

クロージング完了

電子コミック

複合成形材料
(北米)

人工関節

機能性食品

譲渡契約締結

アラミドペーパー

物流

強みを活かした成長へ（顧客近接型ビジネス）

繊維・製品

旭化成アドバンスとの経営統合

ユニチカのспанボンド（不織布）事業を取得
東洋紡のエアバッグ（中国）事業を取得

ヘルスケア

在宅医療基盤を活かした展開を加速

樹脂 他

顧客近接力（「スリアワセ」「クミアワセ」の徹底）で
収益力を強化

アラミド・炭素

コスト構造改革 + 顧客近接の具現化

顧客近接型ビジネスモデルの展開を着実に進め収益力を高める

帝人フロンティア株式会社と旭化成アドバンス株式会社の経営統合（合併会社の設立）

- 当社100%子会社の帝人フロンティア株式会社と旭化成株式会社の100%子会社である旭化成アドバンス株式会社の経営統合（合併会社の設立）に向けた基本契約を締結
- 帝人フロンティア株式会社を存続会社とする新統合会社の設立は2026年10月1日を予定



※ 数値はFY24実績値の単純合算

※ 売上収益は代理人取引を差し引いた純額数値

合併会社設立の狙いと期待されるシナジー効果

- 両社が有する事業基盤、営業ネットワーク、顧客基盤を相互補完しながら、繊維・製品事業の強みでもある顧客近接型ビジネスを拡充し、更なる成長と企業価値の最大化を図る

1

販売チャネル・調達ソース・製品の拡充（≡クミアワセの力）

両社の顧客基盤および製品を活かしたクロスセル機会の拡大

2

新たな市場ニーズへの対応力向上（≡スリアワセの力）

高機能素材の共同開発や品質管理体制の強化

3

規模拡大によるプレゼンス向上

規模が拡大することでファーストコンタクト先になりやすく、成長しやすい

4

価格競争力の向上

原材料調達やバリューチェーンの統合によるコスト削減

5

コスト効率化

重複機能におけるコーポレート人材等の適正化

- 帝人の強みである販売ネットワークを通じ、旭化成アドバンスの競争力のある素材を拡販

--キュプラ繊維、人工皮革など

- 素材のクミアワセによる製品群の拡充や両社のプラットフォーム相乗による課題解決力の強化

--ナイロンとポリエステル繊維をクロスセルすることで、グローバルアパレルに対する訴求力向上

--エアバッグ事業のバリューチェーンをより強固なものとする
ことで、顧客ニーズ対応力を向上

- 双方の土木・建築資材のクロスセル 他

顧客近接型モデルの強化に寄与

2030年近傍 売上高目標
5,000億円規模

抜本的な収益改善に向けた炭素繊維事業における取り組み

取り組み方針

- 素材ビジネスは航空機用途を中心とする**高収益取引に集中**
--納入実績や安定した生産体制などを通じて、高い信頼性が求められ、参入障壁の高い航空機用途に経営資源を集中
- 素材ビジネスから**顧客近接型ビジネスへ軸足を移行**：
 - ①航空機用途中間材料の次世代航空機プログラム向け開発の促進
 - ②**自社素材・他社素材にこだわらず、産業・レクレーション用途の中間材料事業を拡大**

構造改革

- 日米欧三極の炭素繊維**生産ライン適正化**
 - ✓日本、ドイツ工場における稼働系列の峻別
 - ✓米国工場の一時休止（26/1～）
- グローバルでのコスト構造の抜本的見直し

低収益ビジネスからの撤退・生産規模の縮小を断行

成長戦略

- **次世代航空機向け中間材料（プリプレグ等）開発**（日本・ドイツ）
- 高耐熱プリプレグで**防衛含む航空機用途などを拡大**（アメリカ）
- **自社素材にこだわらず、産業・レクレーション用途の中間材料**
在アジア顧客に展開（ベトナム）

顧客近接型ビジネスを拡大

期待 効果

- 米国工場の一時休止で**人員約80名を削減**（26年度1Qより効果発現）
- グローバル全体で**次期中期期間中に固定費約50億円を削減**（上記人員削減効果含む）
- 次期中計初年度の26年度から、25年度対比で**大幅に収益を改善**、収益を安定化

航空機ビジネスの集中並びに顧客近接型ビジネスへ軸足を移行するための基盤を構築

目次

1 2025年度第3四半期決算

2 2025年度業績見通し

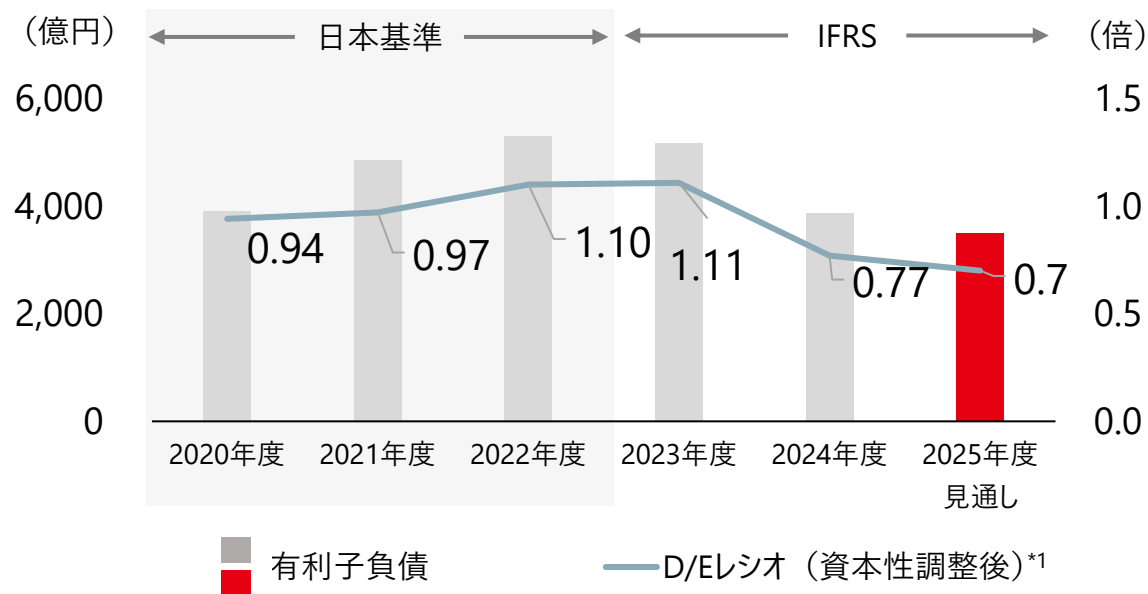
3 トピックス

| 4 参考資料

2025年度配当見通し

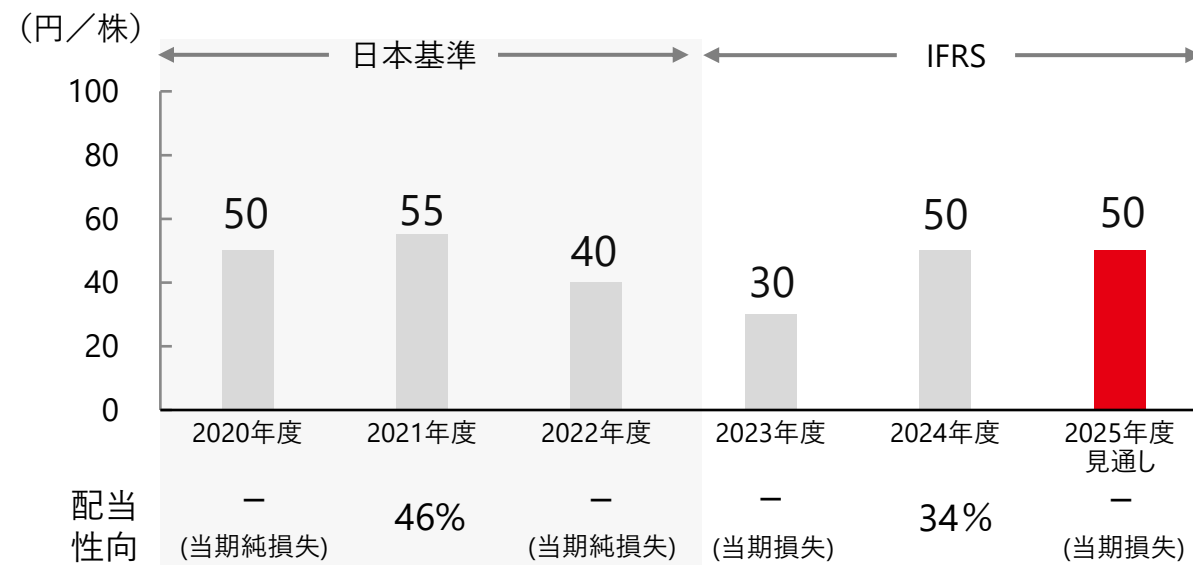
- アラミド事業の減損等により2025年度決算は当期損失となる見込みも、一時的な要因であること、また、「安定的・継続的な配当」を行うとの観点から、1株当たりの配当金は、**年間50円**の見通しから変更なし（中間25円決定、期末25円予定）

有利子負債・D/ELシオ推移



*1 劣後債資本性調整後のD/ELシオ（2021年7月21日 劣後債 600億円発行済）

一株当たり配当金推移



前提 | 当社の主要ターゲット市場の動向（2025年度）

産業セクター		主に関連する事業	マクロ環境
モビリティ	自動車	マテリアル全般 繊維・製品	欧州は景気回復の勢いが乏しく、低成長が継続 中国は地場メーカーが牽引し、全般的に堅調も、成長の安定化は不透明 日本は前年度の低調から緩やかな回復が見られるものの一部で在庫調整が継続
	航空機	マテリアル (炭素繊維)	サプライチェーン上での調達制約が継続も、主要航空機メーカーにおける納入実績は前年を上回る水準に回復。市場は中長期で成長見通し
インフラ＆ インダストリアル	インフラ	マテリアル (アラミド) 繊維・製品	将来成長期待の大きい海底電力ケーブルはパイロットプロジェクトが着実に進展 水処理市場は工業用や海水淡水化需要等で堅調に推移
	電気・電子	マテリアル (樹脂) 新事業 (セパレータ)	サーキュラーエコノミーへの関心の高まりにより、再生プラスチック市場が拡大 電子デバイス市場は堅調に推移
ヘルスケア		医薬品	後発化加速の一方、希少疾患・難病領域には高い医療ニーズあり (厚生労働省は希少疾病・難病の患者に対する在宅療養を含めた支援/ケア体制の充実を提唱)
		在宅医療機器	在宅医療のニーズ増大が継続 (睡眠時無呼吸症候群の国内潜在患者数は900万人以上※)

定常的な損益影響要因

セグメント	主な要因
マテリアル	<ul style="list-style-type: none">・ アラミドの大型定修は3年に一度（2025年度1Qに実施。次回は2028年度1Qを予定）・ 樹脂は毎年2Q、3Qに定修
繊維・製品	<ul style="list-style-type: none">・ 衣料関係は2Q～3Qが秋冬物、4Qが春物シーズン
ヘルスケア	<ul style="list-style-type: none">・ 4Qに経費集中傾向

2025年度第3四半期実績 セグメント別まとめ[前年同期比]

(億円)	合計				マテリアル				繊維・製品			
	24年度 3Q累計	25年度 3Q累計	差異	増減率	24年度 3Q累計	25年度 3Q累計	差異	増減率	24年度 3Q累計	25年度 3Q累計	差異	増減率
売上収益	7,561	6,599	-962	-12.7%	3,424	2,594	-829	-24.2%	2,662	2,586	-76	-2.8%
EBITDA	796	700	-97	-12.1%	230	166	-64	-27.8%	209	196	-13	-6.3%
減価償却費	544 ^{*1}	461	-82	-15.2%	211	161	-50	-23.7%	58	64	+6	+10.1%
事業利益	256	238	-18	-7.0%	19	5	-14	-74.2%	151	132	-19	-12.5%
ROIC	2.9%	3.0%	+0.1%	-	1%	0%	-0%	-	9%	8%	-1%	-

	ヘルスケア				その他			
	24年度 3Q累計	25年度 3Q累計	差異	増減率	24年度 3Q累計	25年度 3Q累計	差異	増減率
売上収益	1,042	1,058	+16	+1.5%	433	361	-73	-16.8%
EBITDA	296	320	+24	+8.3%	102	69	-33	-32.2%
減価償却費	215	191	-24	-11.3%	35	28	-8	-21.5%
事業利益	80	129	+49	+60.7%	67	42	-25	-37.8%
ROIC	4%	8%	+4%	-	-	-	-	-

*1 IT事業を含む

2025年度第3四半期実績 セグメント別四半期推移[前年度比、前年同期比、前四半期比]

(億円)	24年度					25年度			差異 25/3Q -24/3Q	差異 25/3Q -25/2Q
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q		
売上収益										
高機能材料	713	675	643	678	2,709	643	670	653	+10	-17
複合成形材料	520	437	435	491	1,884	500	62	65	-370	+3
マテリアル 計	1,233	1,112	1,079	1,170	4,593	1,143	733	718	-360	-14
繊維・製品	830	909	923	857	3,519	821	883	882	-41	-1
ヘルスケア	354	339	349	327	1,370	338	345	374	+25	+29
その他	137	161	135	139	573	128	119	114	-21	-5
合計	2,553	2,522	2,486	2,494	10,055	2,431	2,079	2,088	-398	+9
事業利益										
マテリアル	24	▲ 7	1	42	60	11	▲ 26	21	+19	+47
繊維・製品	44	57	50	27	178	41	49	43	-8	-6
ヘルスケア	36	18	27	▲ 24	57	40	31	59	+32	+28
その他	22	32	12	4	71	15	18	9	-4	-10
消去又は全社	▲ 22	▲ 18	▲ 21	▲ 29	▲ 90	▲ 28	▲ 19	▲ 23	-2	-3
合計	104	82	70	20	276	78	52	108	+38	+56

2025年度第3四半期実績 連結損益計算書[四半期推移]

(億円)	24年度					25年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q
売上収益	2,553	2,522	2,486	2,494	10,055	2,431	2,079	2,088
売上原価	▲ 1,919	▲ 2,370	▲ 1,898	▲ 1,953	▲ 8,140	▲ 1,872	▲ 1,993	▲ 1,569
売上総利益	634	151	588	541	1,915	559	86	519
販売費および一般管理費	▲ 559	▲ 709	▲ 539	▲ 896	▲ 2,703	▲ 526	▲ 543	▲ 518
その他の収益および費用	5	0	▲ 9	74	71	▲ 10	▲ 106	2
営業利益	80	▲ 557	40	▲ 281	▲ 718	23	▲ 564	3
金融収益および費用	▲ 16	▲ 33	4	▲ 27	▲ 73	▲ 35	▲ 4	▲ 7
持分法による投資損益	19	▲ 2	11	▲ 18	11	13	9	2
税引前四半期利益	84	▲ 592	55	▲ 327	▲ 780	1	▲ 558	▲ 1
法人所得税	▲ 39	1	▲ 43	104	23	▲ 6	17	▲ 41
非継続事業からの四半期利益	8	18	1,035	▲ 0	1,061	-	-	-
四半期利益	52	▲ 573	1,047	▲ 223	303	▲ 6	▲ 542	▲ 42
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	45	▲ 578	1,043	▲ 226	283	▲ 7	▲ 541	▲ 41
非支配分に帰属する四半期利益	8	5	4	3	20	2	▲ 1	▲ 0
営業利益	80	▲ 557	40	▲ 281	▲ 718	23	▲ 564	3
持分法による投資損益 ^{*1}	19	12	11	5	47	14	10	3
非経常的な要因による損益	4	628	19	296	947	42	606	101
事業利益	104	82	70	20	276	78	52	108
設備投資 ^{*2}	113	122	159	206	599	199	127	122
減価償却費 ^{*3}	193	180	171	166	710	153	161	148
研究開発費	73	76	70	90	309	68	83	91

*1 非経常的な要因により発生した損益を除いた額

*2 設備投資には無形資産の取得（M&Aは除く）を含む（2024年度はIT事業含む）

*3 2024年度はIT事業を含む

2025年度第3四半期実績 連結財政状態計算書[四半期推移]

(億円)	24年度				25年度		
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末
資産							
流動資産	6,975	6,603	7,155	5,879	6,641	5,497	5,732
非流動資産	5,916	5,105	5,038	4,734	4,810	4,182	4,164
合計	12,891	11,708	12,193	10,613	11,451	9,680	9,896
負債・資本							
負債	8,355	7,909	7,526	6,227	7,090	5,826	5,984
(内 有利子負債)	5,740	5,471	5,164	3,871	4,922	3,867	3,883
資本	4,536	3,799	4,667	4,385	4,361	3,854	3,912
合計	12,891	11,708	12,193	10,613	11,451	9,680	9,896

2025年度第3四半期実績 総資産内訳[前年度末比]

(億円)	25年3月末	25年12月末	差異
総資産	10,613	9,896	-716
現金及び現金同等物	1,075	1,222	+146
営業債権	1,667	1,698	+31
棚卸資産	2,270	2,241	-30
有形固定資産及び使用権資産	2,743	2,407	-335
のれん及び無形固定資産	938	840	-98
売却目的で保有する資産	554	141	-413
その他	1,364	1,347	-18

2025年度業績見通し セグメント別まとめ[前年度比]

(億円)	合計			マテリアル			繊維・製品		
	24年度実績	25年度見通し	差異	24年度実績	25年度見通し	差異	24年度実績	25年度見通し	差異
売上収益	10,055	8,600	-1,455	4,593	3,300	-1,293	3,519	3,500	-19
EBITDA	982	870	-112	325	205	-120	255	260	+5
減価償却費	710 ^{*1}	620	-90	265	190	-75	76	80	+4
事業利益	276	250	-26	60	15	-45	178	180	+2
ROIC	2.6%	2%	-1%	1%	0%	-1%	8%	8%	-0%

	ヘルスケア			その他		
	24年度実績	25年度見通し	差異	24年度実績	25年度見通し	差異
売上収益	1,370	1,350	-20	573	450	-123
EBITDA	347	390	+43	118	85	-33
減価償却費	290	265	-25	47	55	+8
事業利益	57	125	+68	71	30	-41
ROIC	2%	6%	+4%	-	-	-

*1 IT事業を含む

主要経営指標推移

	日本基準				IFRS		
	20年度 実績	21年度 実績	22年度 実績	23年度 実績	23年度 実績	24年度 実績	25年度 見通し
ROE ^{*1}	-1.7%	5.5%	-4.1%	2.4%	-2.9%	6.7%	-2%
営業利益ROIC ^{*2}	8.6%	5.5%	1.6%	1.6%	-	-	-
ROIC ^{*3}	-	-	-	-	1.8%	2.6%	2%
EBITDA ^{*4} (億円)	1,068	1,130	878	924	984	982	870
基本的 1 株当たり当期利益 ^{*5} (円)	▲ 34.7	120.6	▲ 92.0	55.1	▲ 60.9	147.1	▲ 51.9
1 株当たり配当金 (円)	50	55	40	30	30	50	50
フリー・キャッシュ・フロー ^{*6} (億円)	281	▲ 1,087	27	234	288	1,224	650
設備投資 ^{*7} (億円)	603	2,008	625	669	774	599	650
減価償却費 ^{*6} (億円)	518	688	749	789	780	710	620
研究開発費 (億円)	327	333	319	426	327	309	290
総資産 (億円)	10,411	12,076	12,424	12,510	12,266	10,613	9,600
有利子負債 (億円)	3,800	4,852	5,294	4,989	5,169	3,871	3,500
D/Eレシオ ^{*8}	0.94	1.10	1.25	1.10	1.26	0.90	0.9
D/Eレシオ (資本性調整後) ^{*9}	-	0.97	1.10	0.97	1.11	0.77	0.7
親会社所有者帰属持分比率 ^{*10}	39.0%	36.4%	34.2%	36.3%	33.4%	40.6%	42%

*1 日本基準：「親会社株主に帰属する当期純利益÷期首・期末平均自己資本」にて算出

IFRS：「親会社の所有者に帰属する当期利益÷期首・期末平均親会社の所有者に帰属する持分」にて算出

*2 「営業利益÷期首・期末平均投下資本」にて算出 (*投下資本 = 純資産 + 有利子負債 - 現金および預金)

*3 「税引後事業利益÷期首・期末平均投下資本」にて算出 (投下資本 = 資本 + 有利子負債)

*4 日本基準：「営業利益 + 減価償却費 (のれんを含む)」にて算出

IFRS：「事業利益 + 減価償却費」にて算出

*5 日本基準：1株当たり当期純利益

*6 24年度まではIT事業含む

*7 設備投資には無形資産の取得 (M&Aは除く) を含む
(24年度まではIT事業含む)

*8 日本基準：「有利子負債÷自己資本」にて算出 (グロス表示)

IFRS：「有利子負債÷親会社の所有者に帰属する持分」にて算出 (グロス表示)

*9 劣後債資本性調整後のD/Eレシオ (2021年7月21日 劣後債 600億円発行済)

*10 日本基準：自己資本比率

主要医薬品 国内売上高実績推移

(億円)

品名	薬効	24年度					25年度		
		1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q
糖尿病治療剤四剤合計		55	50	53	43	200	48	46	48
ネシーナ	2型糖尿病治療剤	27	24	26	21	98	23	22	23
イニシンク	2型糖尿病治療剤（配合剤）	17	16	17	14	64	16	15	15
リオベル	2型糖尿病治療剤（配合剤）	7	6	6	4	23	5	5	5
ザファテック	2型糖尿病治療剤	4	4	4	4	16	4	5	4
ベニロン	重症感染症治療剤 【希少疾病用医薬品】	16	16	17	14	63	19	18	28
ソマチュリン*1	先端巨大症・下垂体性巨人症、甲状腺刺激ホルモン産生下垂体腫瘍、膵・消化管神経内分泌腫瘍治療剤 【希少疾病用医薬品】	15	16	18	15	64	16	17	19
ボナロン*2	骨粗鬆症治療剤	15	14	14	11	54	12	12	12
オスタバロ	骨粗鬆症治療剤	7	7	10	9	33	12	12	13
フェブリク	痛風・高尿酸血症治療剤	13	12	7	6	38	7	10	9
ゼオマイン*3	上下肢痙縮治療剤	6	6	7	6	23	6	7	7
ムコソルバン	去痰剤	3	3	3	2	12	2	2	3

*1 ソマチュリン/*Somatuline* は Ipsen Pharma (仏) の登録商標です *2 ボナロン/*Bonalon* はNV Organon(蘭) の登録商標です *3 ゼオマイン/*Xeomin*は、Merz Pharma GmbH & Co, KGaA (独) の登録商標です

ESG外部評価

GPIFの以下ESG指数の構成銘柄に採用



2025 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)



2025 CONSTITUENT MSCI日本株
ESGセレクト・リーダーズ指数



(注) MSCIインデックスへの帝人株式会社の組み入れおよび帝人株式会社によるMSCIのロゴ、商標、サービスマークまたはインデックス名の使用は、MSCIまたはその関係会社による帝人株式会社へのスポンサーシップ・宣伝・販売促進を企図するものではありません。MSCIインデックスはMSCIの独占的財産であり、MSCIおよびMSCIインデックスの名称ならびにロゴは、MSCIまたはその関係会社の商標またはサービスマークです。

MSCI ESG格付評価において「AA」を獲得



日経サステナブル総合調査 SDGs経営編において
「★4」を獲得



SRI（社会的責任投資） インデックスへの組み入れ



SOMPOサステナビリティ・ インデックスの構成銘柄に選定



ESGへの取り組みが優れている企業として 2つの国内プログラムに選定

健康経営推進



スポーツエールカンパニー
(シルバー認定*)



* 認定回数7回～9回
の企業の呼称



本資料に関するご注意

当資料は、任意適用である監査法人によるレビューを受けていない四半期連結財務諸表を基に作成しております。

記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

医薬品、医療機器、再生医療等製品（開発中のものも含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的とするものではありません。

本資料は2026年2月4日11時30分に公表した弊社決算に基づくものです。